

田瀬ダム



北上特定地域

田瀬ダム関係工程表

年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35
猿ヶ石川田瀬堰堤									
猿ヶ石第一発電所建設工事									
猿ヶ石第二発電所建設工事									
猿ヶ石農業水利事業									
猿ヶ石川治山事業									

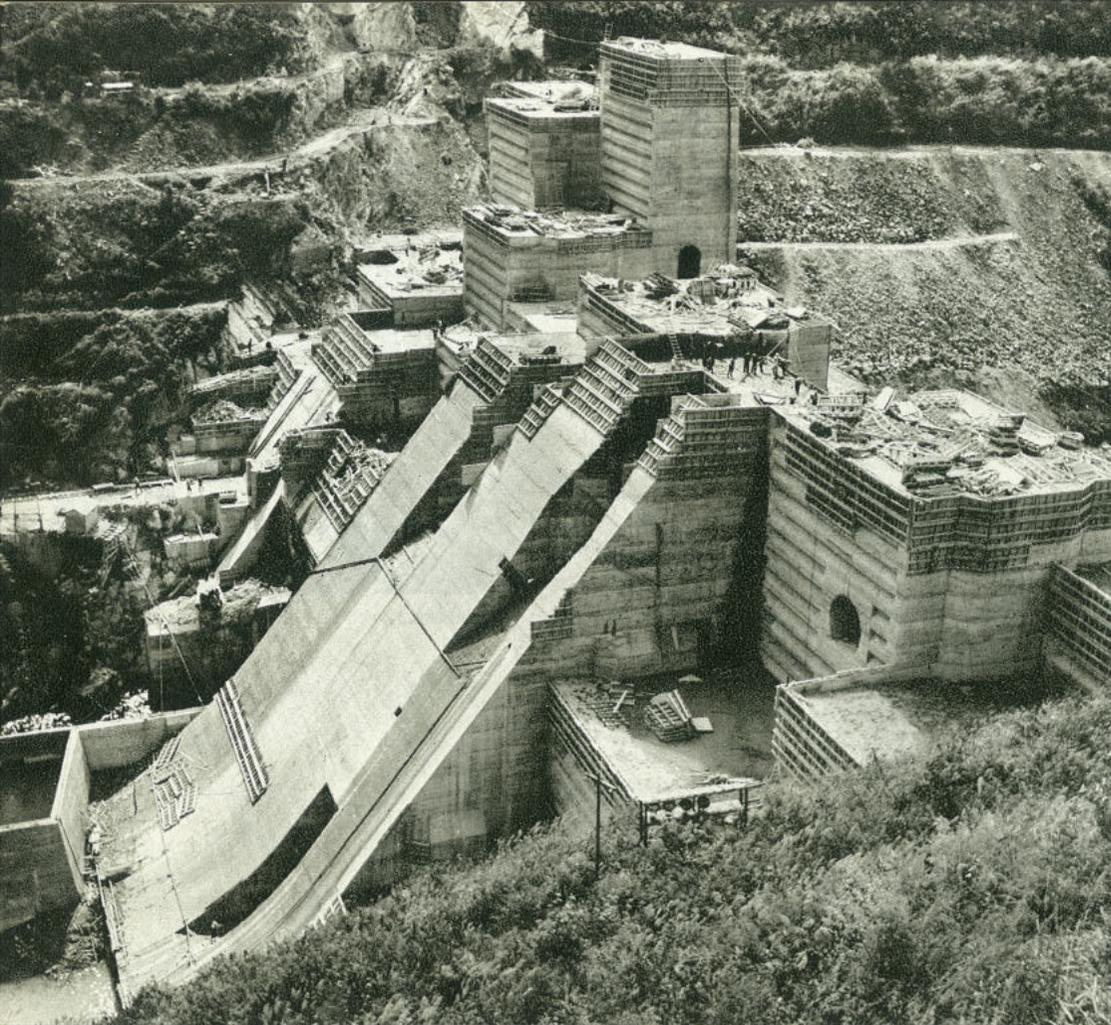
田瀬ダムが完成すると現在あるダムのうちでは日本一のものである。このダムは猿ヶ石川にあつて、五大ダムの一つであり、昭和十六年七月に着工されたが、戦争中に中止され、昭和廿五年七月に再着手された。総工費は廿六億五千万円で完成は昭和廿八年度の予定である。

このダムは洪水調節のほか、発電最大三万四千KW（二地点）猿ヶ石農業水利事業が計画され、農業水利事業は農林省の手で今年調査中である。農業水利事業は旧田三千六百町歩の水不足を解決し、さらに二千七百町歩を開田し、五万五千石の増収が見込まれ、この事業費は十三億四千万円と算定されている。

発電は昭和廿七年度から電源開発会社の手により第一発電所八億一千二百五拾万円で着工されることになっている。

ダムは重力式コンクリート高堰堤であつて、現在約七〇％は完了し、日夜コンクリートの投込み作業が続けられている。

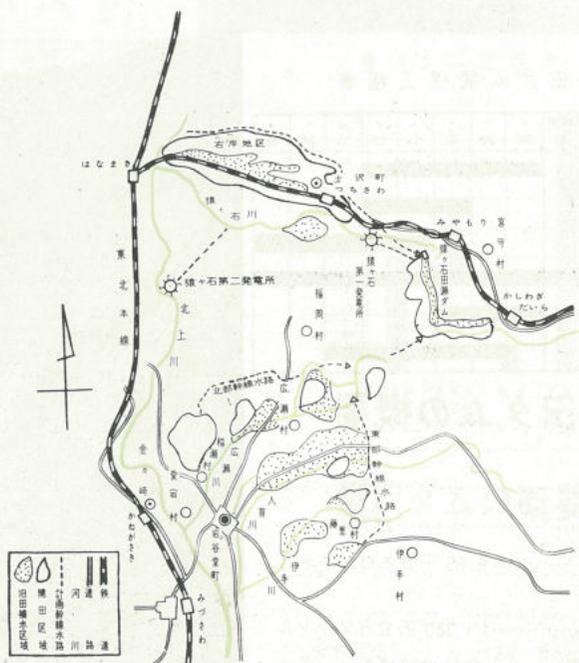
田瀬ダム工事



田瀬ダムの概要

高さ..... 81.5メートル
 全長..... 330メートル
 貯水面積..... 600平方キロメートル
 コンクリート量..... 43万7千立方メートル
 洪水調節量..... 毎秒1,470立方メートル
 貯水量..... 1億4650立方メートル

田瀬ダム関係略図



開発の構想 ③水資源

災害県若手には未開発の資源がそのまゝ、埋もれていた。

第一は水資源である。原始河川といわれる北上川水系では二十七万KWの電力が得られる。

放置しておくといふ荒れ狂う河も、ひと度、手加えられると人々に光と希望を与える近代工業の源「電力」となり、本県開発の根本となつてくる。



猿ヶ石農業水利事業の一部江刺平野の区域整理